

令和7年度 教育学部におけるキャリアガイダンスの実施方法及び教育・指導内容

教育学部は、「佐賀大学キャリアガイダンス実施方針（平成23年1月14日副学長決定）」に基づき、本学部の学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培うことを目的として、以下の実施方法及び教育・指導内容をもって、キャリアガイダンス（社会的・職業的自立に関する指導等）を実施する。

1. 実施方法

- ①本学部のキャリアガイダンスは、下表の段階ごとに正課教育と正課外教育及び指導に区分した教育・指導内容をもって実施する。
- ②学生・就職委員会は、キャリアガイダンスの教育・指導（下表）を計画・立案し実施する。
- ③教務委員会は、学生・就職委員会による審議依頼など必要に応じてキャリアガイダンスの教育・指導に参画する。
- ④教員又は教員組織は、担当する授業科目（群）の内容に応じたキャリアガイダンスを、授業中又は機会を設けて適宜実施する。

2. 教育・指導内容

段階	正課教育	正課外教育及び指導
I	<p>○<u>大学入門科目</u></p> <p>高等学校までと異なる知識や教養の獲得法及び教職の意義を確認するため、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①図書館の利用について</li> <li>②スタディ（アカデミック）スキル</li> <li>③キャリアガイダンス</li> <li>④安全と衛生、人権に関する教育</li> <li>⑤話し合い学習</li> </ol> <p>を実施する。</p> <p>○<u>情報基礎演習 I</u></p> <p>ラーニングポートフォリオ（LP）、教職カルテ及び就職支援システム（JHS）の説明及び入力指導（入学時）を行う。</p>	<p>○<u>新入生オリエンテーション</u></p> <p>大学生活の留意点及び教職の専門分野に関わる職種と就職の現状を説明する。学部全体で教員就職を支援している点についても触れる。</p> <p>○<u>チューター（教職チューターも兼務）による個人面談</u></p> <p>学生一人ひとりにチューター及び教職チューターを選任し、ラーニングポートフォリオ（LP）、教職カルテ及び就職支援システム（JHS）の入力状況を確認しながら毎学期個人面談を行い、必要に応じて教員間の情報共有を行う。</p>

	<p>○<u>教育実践フィールド演習Ⅰ</u></p> <p>教育現場の参観・子どもとの触れ合いを通じて教職に対する意識の向上を図るとともに、大学4年間の学修への見通しを持たせるため、</p> <p>①学部及び実習校での事前指導（子ども観察の方法・授業参観の視点、行政の教育方針の説明等）</p> <p>②実習校での体験活動</p> <p>③学部及び実習校での事後指導（リフレクション、校長講話、学校観・子ども観・教師観の考察、成果と課題の協議と報告書作成等）を指導・実施する。</p> <p>○<u>介護等体験（1年次）</u></p> <p>教職に対する意識の向上を図る一環として佐賀大学教育学部附属特別支援学校における教育活動を体験させる。</p>	<p>○<u>教育学部同窓会（有朋会）主催の教員採用試験対策講座</u></p> <p>有朋会会員有志の協力を得ながら、教員採用試験対策の支援を行う。</p> <p>○<u>キャリア教育講話（1年次）</u></p> <p>附属小中学校教員によるキャリア教育講話を行う。</p>
II	<p>○<u>教育実践フィールド演習Ⅱ（2年次）</u></p> <p>教科別課題指導・実地授業・事後指導を通じて、教育実践に関する技能（学習指導案の作成・教材教具の開発・模擬授業・省察の仕方等）を修得させる。</p> <p>○<u>教育原論（学校支援活動）（2年次）</u></p> <p>教育原論の授業において学校支援活動をさせ、レポートをまとめさせる。</p> <p>○<u>介護等体験（2年次）</u></p> <p>教職に対する意識の向上を図る一環として社会福祉施設における介護現場を体験させる。</p> <p>○<u>教育実践フィールド演習Ⅲ（3年次）</u></p> <p>教科別課題指導及び教育実習中の実地授業の実施を通じて、教育実践に関する技能（学習指導案の作成・教材教具の開発・模擬授業・省察の仕方等）を高めさせる。</p>	<p>○<u>チューター及び教職チューターによる個人面談</u></p> <p>ラーニングポートフォリオ（LP）、教職カルテ及び就職支援システム（JHS）の入力状況を確認しながら毎学期個人面談を行い、必要に応じて教員間の情報共有を行う。</p> <p>○<u>キャリア教育講話（2年次）</u></p> <p>佐賀県教育委員会によるキャリア教育講話を行う。</p> <p>○<u>キャリアアップセミナー（1～3年次）</u></p> <p>キャリアセンターと連携して、参加へ向けた広報を行う。</p> <p>○<u>教採対策支援（シーズンⅠ）</u></p> <p>学部主催の二次試験対策（面接・小論文）として、「教採対策支援：シーズンⅠ」を12月から実施する。</p>

	<p>○<u>教育実習（3年次）</u></p> <p>小学校、中学校及び特別支援学校において教育実習を実施し、教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に用い、検証させる。</p>	<p>○<u>教員採用試験実施要項説明会</u></p> <p>佐賀県教育委員会と連携し、教員採用試験実施要項説明会を実施する。</p>
<p>Ⅲ</p>	<p>○<u>教職実践演習</u></p> <p>教員として必要な基礎的資質の形成について確認・評価するため、</p> <p>①教職カルテに基づく個人面談により教職課程履修状況の確認</p> <p>②受講者の主体的取り組みによる、学級経営、児童・生徒理解、教科指導等に関する内容についてのロールプレイ（役割演技）、事例研究、模擬授業等の企画・実施の指導</p> <p>③佐賀県教育委員会、佐賀市教育委員会の職員による講話を実施する。</p> <p>○<u>教育実習（4年次）</u></p> <p>幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校で教育実習を実施し、教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に用い、検証させる。</p>	<p>○<u>教採対策支援（シーズンⅡ・Ⅲ）</u></p> <p>教員採用試験二次試験対策（面接・小論文）として、学部主催の「教採対策支援：シーズンⅡ」を4月から、「教採対策支：シーズンⅢ」を一次試験終了後から実施する。T e a m s や掲示等で、各自治体の採用試験の変更点の周知などを行う。</p> <p>○<u>チューター及び教職チューターによる個人面談</u></p> <p>ラーニングポートフォリオ（LP）、教職カルテ及び就職支援システム（JHS）の入力状況を確認しながら毎学期個人面談を行い、必要に応じて教員間の情報共有を行う。</p> <p>○<u>佐賀県内自治体の教育関係臨時職員の募集説明会</u></p> <p>教員採用試験再受験を目指す卒業予定者を対象として、佐賀県内自治体の教育関係臨時職員の募集説明会を教育委員会と連携して実施する。</p>

注) 1年次をステージⅠ、2～3年次をステージⅡ、4年次をステージⅢに記載している。